

## 第67回卒園式を実施！～52名の園児が元気に巣立つ！～



3月14日(土)、本園遊戯室において「第67回卒園式」が実施されました。今年度は、新型コロナウイルスへの対応の一環



として、文部科学省から卒園式を実施するに当たり、「時間と規模の縮小を図ること」「感染防止のため最大限の対策を講じること」等が指示されました。それを受け、本園でも「卒園式を一部簡略化して実施」することとなりました。また、出席者全員がマスクを着用したり、参加人数を制限したりする措置も行いました。保護者の皆様には、趣旨のご理解とご協力をいただき感謝しております。



午前10時に、進行役である教頭先生の「卒園児入場」という声が式場に響くと同時に、卒園児たちが入場しました。少し緊張した面持ちですが、入口できちんと一礼をして前を向いて入場することができました。座席に着くと、列ごとに「礼」をして着席します。



開式のことは後は、式のメインである「卒園証書授与」です。園児たちの緊張が高まり、表情も硬くなります。今年度は、式の簡略化ということもあり、組ごとに一列になり園長先生から証書を受け取りました。



担任の先生から呼名されると、全員が大きな声で返事をする事ができました。証書も肘を伸ばしてしっかりと受け取る事ができました。また、自席に戻るときも、胸を張りしっかりと足取りで歩くなど、とても堂々としていました。次に、皆勤賞の表彰がありました。1年間または2年間休まず登園し続けた11名の園児が表彰を受けました。名前を呼ばれると「ハイ」と元気よく返事をする事ができます。さすが「皆勤賞を受ける子どもたち」だと感心し



ました。

例年なら実施する「父母の会役員の皆様」に対する感謝状の贈呈は割愛させていただきました。

そして、園長先生のお話の後に「在園児代表お祝いのことば」がありました。



した。年中組である「ひまわり組」3名が「初めて幼稚園に入って、何も分からない私たちに、いろんなことを優しく教えてくださいました。一緒に楽しく遊んだことを決して忘れません。」などと、卒園児へ感謝やお礼のことばを堂々と述べることができました。「もうすぐ年長組になる。」という自覚をしっかりと見ることができました。



次に、卒園児全員で「思い出のアルバム」を今までの中で一番元気に歌いました。子供達が過ごしてきた純粋な毎日に思いを馳せ、涙ぐむお母さん方の姿がとても印象的でした。

その後予定していた「保護者代表お礼のことば」と「記念品贈呈」は、式簡略化のため割愛させていただきました。



次は、「卒園児お別れのことば」です。4月から行ってきた様々な行事を振り返りながら、楽しかったことや頑張ったこと、大変だったことなどを卒園児一人ひとりが発表しました。（「9月、幼稚園最後の運動会。走っては走ってちびっこリレー。力を合わせて組体操。係りの仕事も頑張りました。」「2月、大型バスで行ったお別れ遠足。大洗水族館に行きました。イルカのショーもみんなで見たよ。」など）「お別れのことば」の後、卒園児全員で「たいせつなともだち」を歌いました。歌いながら今までの園生活を思い出し、感極まって涙を流す園児もいました。



最後に園児たちが一番お世話になった担任の先生に、各組代表者が花束を手渡しました。涙目で花束を手にする先生方の愛情の深さに感動しました。



閉式のことばの後、退場になりました。しかし、ただ退場するのではなく、卒園児一人ひとりが自分なりのメッセージを伝えてから退場するという趣向が凝らされています。「お母さん、毎日美味しい食事を作ってくれてありがとう。」「お父さん、お仕事頑張ってくれてありがとう。」「小学校に行ったら、国語を頑張ります。」など、親への感謝やこれからの抱負などをしっかりと行って退場することができました。（メッセージを伝えて退場するという工夫。素晴らしいと感じました。）



**写真・・・「たいせつなともだち」を卒園児全員で歌いました。マスク越しとは思えない大きな声で、しっかりと歌いきることができました。感傷的になり涙ぐむ園児も！退場前のメッセージも心がこもっていました。**